

## カミの細部に宿る 微調整のテクニック集

いざプリントを作ってはみたものの、なんだかちょっと惜しい…  
ということはありませんか？  
今回はそんなときに使える小ワザを集めました。



### 作成済みの関数グラフの 原点の位置を微調整

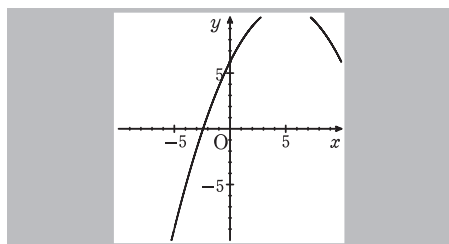


図1：原点を中心に配置して座標を作り  
二次関数のグラフを配置したら  
頂点が外に出ってしまった

まずは、関数グラフを作成した後に原点の位置を少しずらす方法をご案内します。  
作成した関数グラフの座標を右クリックし、  
[座標範囲変更]を選択すると、範囲だけでなく原点も動かすことができます。  
ちなみに、原点をクリックした後にキーボードの[↑][↓][→][←]でも調整ができます。

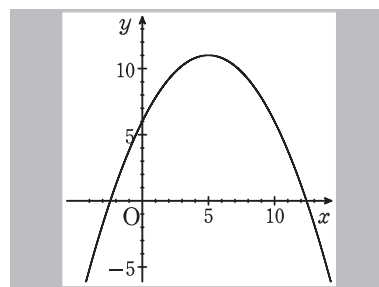
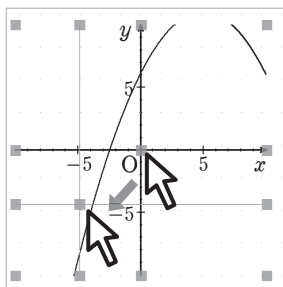
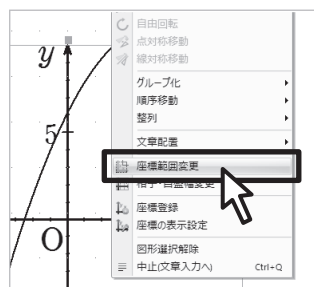


図2：座標を右クリック→[座標範囲変更]  
→原点をクリック→移動先で再度クリック

図3：頂点を座標の範囲内に  
収めることができた



## 図形の位置を キーボードで微調整

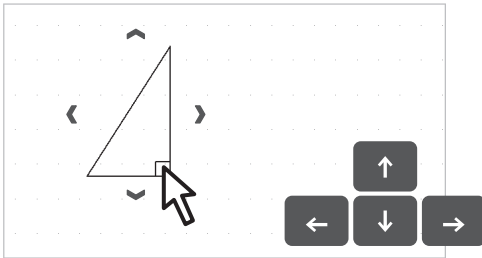


図4：図形を選択した後にキーボードで動かすことができる

作成した図形を移動させるにはマウスでドラッグするのが直観的です。しかし、本当に少しでも動かしたいときだと上手くいかないこともあります。

そんなときは、キーボードのカーソルキー [↑][↓][→][←] をおすすめします。図形を選択後にカーソルキーを押下すると、少しでも上下左右に動かすことができます。



## 穴埋め問題の 数式BOXの大きさを微調整

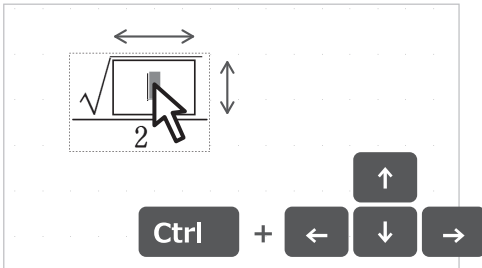


図5：数式BOXの中で [Ctrl]+上下左右のカーソルキー

穴埋め問題などで使用する数式BOXの大きさも、キーボードで微調整ができます。まずは数式編集を開始し、数式BOXの中にカーソルを移動させます。その状態でキーボードの [Ctrl] キーを押しながら [↑][↓][→][←] を押すことで、数式BOXの大きさを調節することができます。



## 表のセルの大きさも キーボードで微調整

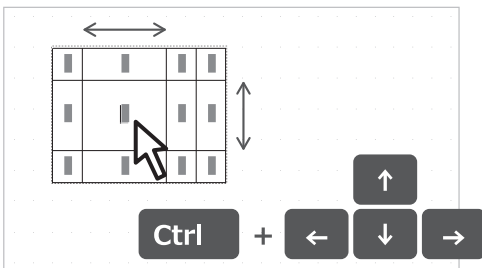


図6：表のセルの中で [Ctrl]+上下左右のカーソルキー

数式の表のセルの大きさも同様に、キーボードで微調整ができます。

まずは数式編集を開始し、セルの中にカーソルを移動させます。先程同様、キーボードの [Ctrl] キーを押しながら [↑][↓][→][←] を押すことで、セルの大きさを調節することができます。

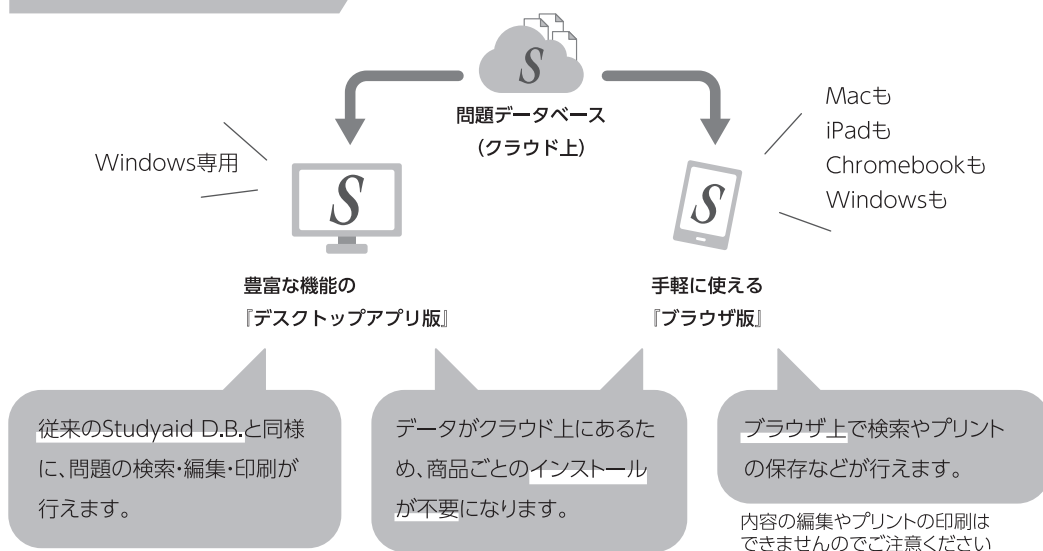
## 新商品

Studyaid D.B. シリーズに新たな仲間が増えました!



- いつでも
  - どこでも
  - どの端末でも
- クラウド上のデータベースから  
問題が検索できます

「Studyaid D.B. オンライン」では2種類  
のシステムが使えます



※ ラインナップなどの詳しい情報は数研出版Webサイト <https://www.chart.co.jp/stdb/online/> をご覧ください

## アップデート

従来の Studyaid D.B. にもシステム更新があります

「Adobe Flash Player」のサポート終了に伴う「指導者用デジタル教科書」のご使用につきまして、  
数研出版Webサイト <https://www.chart.co.jp/stdb/info/flash.html> をご覧ください。